

## 子どもの未来応援プロジェクトについて

### 【目的】

『子どもの貧困対策に関する大綱（平成26年8月29日閣議決定）』

＝＝ 全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指して ＝＝

を受け、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないように、また、親の経済状況が世代を超えて連鎖することがないように、必要な環境整備や教育の機会均等を図るための施策の検討に取り組んでいく。

さらに、親世代のライフスタイルや子どもを取り巻く環境の変化から生じる様々な課題に着目し、子どもの健全育成に向けた施策について検討していく。

### 【方針】

経済的に厳しい状況にあるといわれているひとり親家庭、生活保護・就学援助費受給世帯の子どもの実態やニーズを把握する。これを基に、区の現状施策の検証を行い、低所得世帯の子どもが抱える課題を見える化し、子どもの健全育成に向けた支援策を検討する。

※当面は、ひとり親家庭、生活保護・就学援助費受給世帯の子どもを中心に検証を行っていく。

## 検討内容

- ① 経済的に厳しい子育て世帯の状況を見える化する。

対象範囲（生活保護・就学援助受給世帯、ひとり親家庭等）の(※)基礎データの収集・検証、実態・ニーズの把握

(※)基礎データとは：所得状況、家族構成、進学率・就職率、親の就労率

- ② 既存事業の集約・整理と検証
- ③ 今後、展開が必要とされる事業の検討
- ④ 国・東京都および他自治体の施策の調査

## 検討会議体

### 《検討委員会》

中川原副区長（委員長）、子ども未来部長（副委員長）

（委員）福祉部長、子ども家庭支援課長、生活福祉課長、教育委員会事務局教育次長、学務課長

### 《調整部会》

子ども家庭支援課長、生活福祉課長、学務課長

### 《作業部会》

家庭支援係長、相談係長、学事係長

### 《事務局》

子ども家庭支援課

■課題に応じ、関連各課（教育総合支援センター、子ども育成課、指導課等）が参加する。

## 品川区子どもの未来応援プロジェクト検討委員会検討経過

	開催日	検討事項
第1回 検討委員会	平成28年6月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討委員会の方針、役割等の確認</li> <li>検討スケジュール等の確認</li> <li>検討委員会名称決定</li> </ul>
第1回 調整部会	平成28年7月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親、小中学生調査スケジュールの確認</li> <li>今後の全体作業スケジュールの確認</li> <li>他区の情報交換</li> </ul>
第2回 調整部会	平成28年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種調査の進捗状況確認</li> <li>調査結果データのまとめ方の確認</li> <li>今後の作業スケジュールの確認</li> </ul>
第3回 調整部会	平成28年9月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回検討委員会議題整理</li> <li>調査結果報告内容確認</li> <li>課題事業等の検証方法の検討</li> </ul>
第2回 検討委員会	平成28年9月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存事業の実態把握</li> <li>既存事業の課題整理、検証</li> <li>新規・拡充事業等の洗い出し、予算額検討</li> </ul>
第4回 調整部会	平成28年10月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回までの検討内容確認</li> <li>分科会の進め方確認</li> <li>業務分析シート(案)の内容確認</li> </ul>
第3回 検討委員会	平成28年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規・拡充事業等の具体的内容確認</li> <li>検討方針の確認</li> </ul>
第5回 調整部会	平成28年11月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>分科会日程の確認、検討項目の確認、分科会の進め方</li> <li>第4回検討委員会議題整理、資料確認</li> <li>今後の全体作業スケジュールの確認</li> </ul>
第4回 検討委員会	平成28年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間報告項目確認</li> <li>次年度以降検討事項確認</li> <li>予算要求内容等の確認</li> </ul>
第6回 調整部会	平成28年12月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書項目確認</li> <li>報告書資料内容確認、選定</li> </ul>
第7回 調整部会	平成28年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書項目確認</li> <li>報告書資料内容確認、選定</li> </ul>
第8回 調整部会	平成28年12月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書項目確認</li> <li>報告書資料内容確認、選定</li> <li>検討スケジュール確認</li> </ul>
第9回 調整部会	平成29年1月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討委員会議題の確認</li> <li>提出資料確認</li> <li>スケジュール確認</li> </ul>
第5回 検討委員会	平成29年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書項目、資料等確認</li> <li>年度末までの作業項目・スケジュール確認</li> <li>次年度検討体制確認</li> </ul>
報告書編集会議	平成29年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書の最終形式の確認</li> <li>報告書内容(項目)の確認</li> <li>報告書作成スケジュールの確認</li> </ul>
第10回 調整部会	平成29年2月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書の形式、内容確認</li> <li>報告書作成スケジュール確認、資料の修正方法等確認</li> <li>役割分担確認</li> </ul>
第11回 調整部会	平成29年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書本文作成、修正、確認</li> <li>報告書添付資料確認、内容確認・修正</li> <li>次回までの作業スケジュール等確認</li> </ul>
第12回 調整部会	平成29年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務引継</li> <li>報告書および添付資料の作成・修正、内容資料</li> <li>作業進捗の確認、次年度作業スケジュール等確認</li> </ul>

## 各種調査等の結果からみる現状

ひとり親家庭、生活保護・就学援助費受給世帯等の区が有している行政データをフル活用するとともに、より現状理解を深めるため、「小中学生の生活状況調査」および「ひとり親家庭状況調査」をアンケート形式で実施した。

### 1 小中学生の生活状況調査について

小中学生の生活状況を把握するため、区立小中学校・義務教育学校に在籍する、2年生（約2,500名）と9年生（約1,600名）を対象に、世帯の基本情報、親の就労状況、生活の状況、子どもの進路に関すること等について、平成28年7～8月にアンケート調査を行い、分析に活用した。

#### 【対象】

区立学校に在籍する第2学年および第9学年の全保護者

中学生は、高校進学を控えた9年生とし、小学生については、兄弟で同じ世帯とならないよう低学年とすることとし、うち1年生はまだ入学間もないことから2年生とした。

#### 【調査方法】

無記名回答とし、学校を通じ、「生活状況調査」を配布。保護者は、事務局（子ども家庭支援課）へ郵送（受取人払い）。

#### 【調査実施期間】

平成28年7月15日（金）～平成28年8月31日（水）

#### 【調査対象者数・回答数】

	対象者数*1	回答数	回答率	うちひとり親世帯	
				回答数	回答率*2
第2学年	2,505人	1,216人	48.54%	78人	6.41%
第9学年	1,668人	599人	35.91%	92人	15.36%
合計	4,173人	1,815人	43.49%	170人	9.37%

\*1 対象者数は、平成28年5月1日現在の児童・生徒数

\*2 各回答数に占めるひとり親世帯の率を示す

【調査結果より（特徴的なもの）】

(1) 全体集計およびひとり親世帯比較

アンケート回答者は、93%が母親であった。

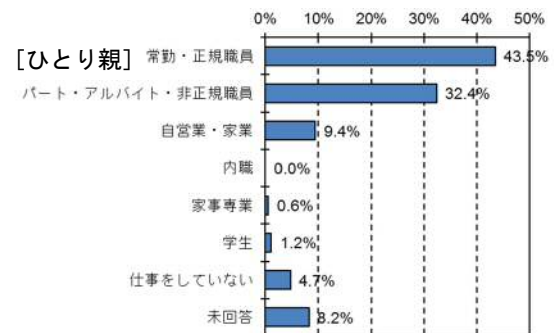
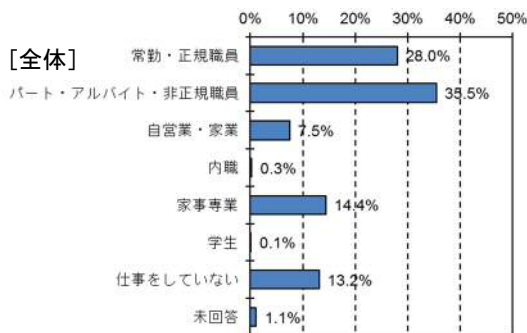
【世帯概要】

問 家族の人数

	2年生		9年生		合計	
	全体	ひとり親	全体	ひとり親	全体	ひとり親
2人	27 2.2%	24 30.8%	36 6.0%	34 37.0%	63 3.5%	58 34.1%
3人	218 17.9%	21 26.9%	91 15.2%	27 29.3%	309 17.0%	48 28.2%
4人	607 49.9%	16 20.5%	261 43.6%	19 20.7%	868 47.8%	35 20.6%
5人	287 23.6%	11 14.1%	147 24.5%	9 9.8%	434 23.9%	20 11.8%
6人	54 4.4%	6 7.7%	46 7.7%	2 2.2%	100 5.5%	8 4.7%
7人以上	23 1.9%		17 2.8%	1 1.1%	40 2.2%	1 0.6%
未回答			1 0.2%		1 0.1%	
合計	1,216	78	599	92	1,815	170

家族構成は、4人世帯が47.8%、5人世帯が23.9%であり、ひとり親世帯では、2人世帯34.1%、3人世帯28.2%、4人世帯20.6%であった。

問 現在の就業状況（母親）



母親の就業状況は、常勤・正規、自営業あわせて35.5%、パート・アルバイト・非正規も同率の35.5%で、専業主婦・無職27.6%である。ひとり親世帯は、常勤・正規、自営業あわせて52.9%、パート・アルバイト・非正規が32.4%となっており、常勤・正規、自営業の割合が高くなっている。

問 前年（2015年）の家族全員の年収の合計額

	2年生				9年生				合計			
	全体		ひとり親		全体		ひとり親		全体		ひとり親	
50万円未満	8	0.7%	1	1.3%	7	1.2%	6	6.5%	15	0.8%	7	4.1%
50～100万円未満	7	0.6%	6	7.7%	4	0.7%	2	2.2%	11	0.6%	8	4.7%
100～200万円未満	27	2.2%	16	20.5%	21	3.5%	15	16.3%	48	2.6%	31	18.2%
200～300万円未満	48	3.9%	14	17.9%	36	6.0%	20	21.7%	84	4.6%	34	20.0%
300～400万円未満	68	5.6%	12	15.4%	47	7.8%	14	15.2%	115	6.3%	26	15.3%
400～500万円未満	61	5.0%	7	9.0%	64	10.7%	18	19.6%	125	6.9%	25	14.7%
500～600万円未満	108	8.9%	6	7.7%	54	9.0%	2	2.2%	162	8.9%	8	4.7%
600～750万円未満	163	13.4%	1	1.3%	100	16.7%	7	7.6%	263	14.5%	8	4.7%
750～1,000万円未満	248	20.4%	8	10.3%	113	18.9%	3	3.3%	361	19.9%	11	6.5%
1,000～1,500万円未満	299	24.6%	3	3.8%	106	17.7%	2	2.2%	405	22.3%	5	2.9%
1,500万円以上	161	13.2%	1	1.3%	34	5.7%	1	1.1%	195	10.7%	2	1.2%
未回答	18	1.5%	3	3.8%	13	2.2%	2	2.2%	31	1.7%	5	2.9%
合計	1,216		78		599		92		1,815		170	

家族の年収合計では、2年生で200万未満が3.5%、1,000万以上が37.8%、9年生では200万未満が5.4%、1,000万以上が23.4%となっているのに対し、ひとり親世帯では、2年生で200万未満が29.5%、1,000万以上が5.1%、9年生では200万未満が25%、1,000万以上が3.3%となっており、相対的に所得が低い傾向が見られる。

## 【生活状況】

### 問 お子さんの普段の夕食の摂り方

	2年生				9年生				合計			
	全体		ひとり親		全体		ひとり親		全体		ひとり親	
家族と一緒に食べる	1,170	96.2%	74	94.9%	503	84.0%	77	83.7%	1,673	92.2%	151	88.8%
子どもたちだけで食べる	37	3.0%	4	5.1%	41	6.8%	7	7.6%	78	4.3%	11	6.5%
一人で食べる	7	0.6%			52	8.7%	8	8.7%	59	3.3%	8	4.7%
食べない	1	0.1%							1	0.1%		
未回答	1	0.1%			3	0.5%			4	0.2%		
合計	1,216		78		599		92		1,815		170	

2年生では96.2%であった「家族と一緒に食べる」が9年生では84%となり、一人で食べるが8.7%と割合が高くなっている。

### 問 お子さんが夕食を子どもたちだけまたは一人で食べる頻度

	2年生				9年生				合計			
	全体		ひとり親		全体		ひとり親		全体		ひとり親	
全くない	902	74.2%	52	66.7%	162	27.0%	19	20.7%	1,064	58.6%	71	41.8%
ほとんどない	180	14.8%	16	20.5%	175	29.2%	23	25.0%	355	19.6%	39	22.9%
時々ある	104	8.6%	6	7.7%	216	36.1%	43	46.7%	320	17.6%	49	28.8%
ほぼ毎日	19	1.6%	3	3.8%	41	6.8%	6	6.5%	60	3.3%	9	5.3%
未回答	11	0.9%	1	1.3%	5	0.8%	1	1.1%	16	0.9%	2	1.2%
合計	1,216		78		599		92		1,815		170	

「子どもたちだけ」または「一人で食べる」頻度において、時々ある、ほぼ毎日とした家庭は、2年生に比べ9年生で割合が高くなっており、全体とひとり親世帯では差はみられない。

### 問 お子さんは塾に通っていますか。(家庭教師を含む)

	2年生				9年生				合計			
	全体		ひとり親		全体		ひとり親		全体		ひとり親	
毎日	6	0.5%			21	3.5%	2	2.2%	27	1.5%	2	1.2%
週に3~4回	28	2.3%	1	1.3%	249	41.6%	32	34.8%	277	15.3%	33	19.4%
週に1~2回	296	24.3%	20	25.6%	203	33.9%	33	35.9%	499	27.5%	53	31.2%
月に1~2回	7	0.6%	1	1.3%	3	0.5%			10	0.6%	1	0.6%
通っていない	877	72.1%	56	71.8%	122	20.4%	24	26.1%	999	55.0%	80	47.1%
未回答	2	0.2%			1	0.2%	1	1.1%	3	0.2%	1	0.6%
合計	1,216		78		599		92		1,815		170	

塾へ通っている頻度は、2年生では、ひとり親世帯でも全体と比し、大きな違いは見られない。しかし、9年生になると、ひとり親世帯では塾に週3~4回いく世帯が6~7ポイント低く、通っていない率が6ポイント高いなど、塾に行く頻度が低い傾向がみられる。

## 【進路】

問 お子さんの最終学歴はどこまで希望しますか。

	2年生				9年生				合計			
	全体		ひとり親		全体		ひとり親		全体		ひとり親	
中学校	2	0.2%							2	0.1%		
高校	19	1.6%	2	2.6%	29	4.8%	8	8.7%	48	2.6%	10	5.9%
短大・専門学校	31	2.5%	5	6.4%	50	8.3%	9	9.8%	81	4.5%	14	8.2%
大学	806	66.3%	50	64.1%	382	63.8%	54	58.7%	1,188	65.5%	104	61.2%
大学院	57	4.7%	4	5.1%	11	1.8%	2	2.2%	68	3.7%	6	3.5%
まだ考えていない	83	6.8%	7	9.0%	21	3.5%	3	3.3%	104	5.7%	10	5.9%
子どもに任せる	215	17.7%	10	12.8%	105	17.5%	15	16.3%	320	17.6%	25	14.7%
未回答	3	0.2%			1	0.2%	1	1.1%	4	0.2%	1	0.6%
合計	1,216		78		599		92		1,815		170	

最終学歴では、2年生で大学・大学院が71%、子どもに任せるが17.7%。9年生で大学・大学院が65.6%、子どもに任せるが17.5%となっている。ひとり親世帯では、2年生で大学・大学院69.2%、子どもに任せる12.8%。9年生で大学・大学院が60.9%、子どもに任せる16.3%となっている。

問 お子さんの進学資金

	2年生				9年生				合計			
	全体		ひとり親		全体		ひとり親		全体		ひとり親	
計画的に積み立てている	706	58.1%	37	47.4%	299	49.9%	36	39.1%	1,005	55.4%	73	42.9%
これから積み立てる	116	9.5%	4	5.1%	25	4.2%	3	3.3%	141	7.8%	7	4.1%
準備が必要だと思うが経済的に余裕がない	187	15.4%	32	41.0%	154	25.7%	37	40.2%	341	18.8%	69	40.6%
進学時に調達する	53	4.4%	1	1.3%	44	7.3%	5	5.4%	97	5.3%	6	3.5%
特に心配していない	104	8.6%	2	2.6%	43	7.2%	2	2.2%	147	8.1%	4	2.4%
未定・その他	47	3.9%	2	2.6%	30	5.0%	7	7.6%	77	4.2%	9	5.3%
未回答	3	0.2%			4	0.7%	2	2.2%	7	0.4%	2	1.2%
合計	1,216		78		599		92		1,815		170	

進学資金については、2年生では計画的に積み立てているが58.1%、準備する余裕なしが15.4%。9年生では積み立てている49.9%、余裕なし25.7%となっているのに対し、ひとり親世帯では、2年生で積み立てている47.4%、余裕なし41.0%、9年生で積み立てているが39.1%、余裕なし40.2%で2年生9年生ともに余裕がないという回答の割合がひとり親世帯に高く、何らかの配慮が必要な世帯が多い状況がみられる。

## (2) 所得別から見られる傾向

所得層については、世帯収入を300万円未満、300～500万円未満、500～750万円未満、750～1,000万円未満、1,000万円以上の5区分に分けて集計した。

### 【概要】

世帯収入	2年生	9年生
300万円未満	90世帯 7.4%	68世帯 11.4%
300～500万円未満	129世帯 10.6%	111世帯 18.5%
500～750万円未満	271世帯 22.3%	154世帯 25.7%
750～1,000万円未満	248世帯 20.4%	113世帯 18.9%
1,000万円以上	460世帯 37.8%	140世帯 23.4%
未回答	18世帯 1.5%	13世帯 2.2%
合計	1,216世帯	599世帯

### 【生活状況】

#### 問 お子さんの普段の主な夕食の摂り方

[2年生]	家族と一緒に食べる		子どもたちだけで食べる		一人で食べる		食べない		未回答		合計
300万円未満	84	93.3%	4	4.4%	2	2.2%					90
300～500万円未満	122	94.6%	5	3.9%	1	0.8%			1	0.8%	129
500～750万円未満	258	95.2%	11	4.1%	2	0.7%					271
750～1,000万円未満	242	97.6%	4	1.6%	2	0.8%					248
1,000万円以上	448	97.4%	11	2.4%			1	0.2%			460
未回答	16	88.9%	2	11.1%							18
合計	1,170	96.2%	37	3.0%	7	0.6%	1	0.1%	1	0.1%	1,216

[9年生]	家族と一緒に食べる		子どもたちだけで食べる		一人で食べる		食べない		未回答		合計
300万円未満	56	82.4%	6	8.8%	6	8.8%					68
300～500万円未満	94	84.7%	9	8.1%	8	7.2%					111
500～750万円未満	130	84.4%	11	7.1%	11	7.1%			2	1.3%	154
750～1,000万円未満	100	88.5%	2	1.8%	11	9.7%					113
1,000万円以上	114	81.4%	11	7.9%	15	10.7%					140
未回答	9	69.2%	2	15.4%	1	7.7%			1	7.7%	13
合計	503	84.0%	41	6.8%	52	8.7%			3	0.5%	599

夕食を「子どもたちだけで食べる」と回答した世帯は、年収に関係なく分布している。「家族と一緒に食べる」が、2年生で9割、9年生で8割を超え、年収による大きな差はみられなかった。



問 お子さんは塾に通っていますか。(家庭教師を含む)

[2年生]	毎日		週に3~4回		週に1~2回		月に1~2回		通っていない		未回答		合計
300万円未満			2	2.2%	12	13.3%			76	84.4%			90
300~500万円未満			2	1.6%	23	17.8%			103	79.8%	1	0.8%	129
500~750万円未満	1	0.4%	7	2.6%	47	17.3%	2	0.7%	213	78.6%	1	0.4%	271
750~1,000万円未満	1	0.4%	5	2.0%	64	25.8%	3	1.2%	175	70.6%			248
1,000万円以上	4	0.9%	11	2.4%	150	32.6%	2	0.4%	293	63.7%			460
未回答			1	5.6%					17	94.4%			18
合計	6	0.5%	28	2.3%	296	24.3%	7	0.6%	877	72.1%	2	0.2%	1,216

[9年生]	毎日		週に3~4回		週に1~2回		月に1~2回		通っていない		未回答		合計
300万円未満	2	2.9%	16	23.5%	23	33.8%			26	38.2%	1	1.5%	68
300~500万円未満	2	1.8%	35	31.5%	46	41.4%	3	2.7%	25	22.5%			111
500~750万円未満	4	2.6%	64	41.6%	48	31.2%			38	24.7%			154
750~1,000万円未満	6	5.3%	55	48.7%	36	31.9%			16	14.2%			113
1,000万円以上	7	5.0%	72	51.4%	46	32.9%			15	10.7%			140
未回答			7	53.8%	4	30.8%			2	15.4%			13
合計	21	3.5%	249	41.6%	203	33.9%	3	0.5%	122	20.4%	1	0.2%	599

塾については、2年生では週1~2回がほぼ所得に応じて高めに、通っていないは所得が低いほどが高めとなる。9年生では、500万円以上では週3~4回が最も多く、300~500万円未満では週1~2回が最も多い。300万円未満でも週1~2回で3割、週3~4回で2割を超えている反面、通っていないが4割近く占めている。

## 【進路】

問 お子さんの最終学歴はどこまで希望しますか。

[2年生]	中学校	高校	短大 専門学校	大学	大学院	まだ考えて いない	子どもに 任せる	未回答	合計
300万円未満		4 4.4%	6 6.7%	44 48.9%	2 2.2%	10 11.1%	24 26.7%		90
300～500万円未満		1 0.8%	10 7.8%	67 51.9%	4 3.1%	8 6.2%	37 28.7%	2 1.6%	129
500～750万円未満		7 2.6%	8 3.0%	168 62.0%	4 1.5%	22 8.1%	61 22.5%	1 0.4%	271
750～1,000万円未満		2 0.8%	3 1.2%	180 72.6%	11 4.4%	15 6.0%	37 14.9%		248
1,000万円以上	2 0.4%	4 0.9%	3 0.7%	339 73.7%	35 7.6%	24 5.2%	53 11.5%		460
未回答		1 5.6%	1 5.6%	8 44.4%	1 5.6%	4 22.2%	3 16.7%		18
合計	2 0.2%	19 1.6%	31 2.5%	806 66.3%	57 4.7%	83 6.8%	215 17.7%	3 0.2%	1,216

[9年生]	中学校	高校	短大 専門学校	大学	大学院	まだ考えて いない	子どもに 任せる	未回答	合計
300万円未満		8 11.8%	7 10.3%	35 51.5%	1 1.5%		17 25.0%		68
300～500万円未満		11 9.9%	15 13.5%	57 51.4%	1 0.9%	8 7.2%	18 16.2%	1 0.9%	111
500～750万円未満		6 3.9%	12 7.8%	98 63.6%	3 1.9%	5 3.2%	30 19.5%		154
750～1,000万円未満		3 2.7%	6 5.3%	80 70.8%	2 1.8%	5 4.4%	17 15.0%		113
1,000万円以上		1 0.7%	7 5.0%	105 75.0%	4 2.9%	3 2.1%	20 14.3%		140
未回答			3 23.1%	7 53.8%			3 23.1%		13
合計		29 4.8%	50 8.3%	382 63.8%	11 1.8%	21 3.5%	105 17.5%	1 0.2%	599

最終学歴では、大学まで希望は、2年生9年生ともに所得に応じて高くなっている。また、子どもに任せるは、特に9年生の300万円未満で高くなっている。

問 お子さんの進学資金

[2年生]	計画的に 積み立て	これから 積み立て	経済的に 余裕がない	進学の際に 調達	特に心配 していない	未定 その他	未回答	合計
300万円未満	29 32.2%	6 6.7%	46 51.1%	3 3.3%	3 3.3%	3 3.3%		90
300～500万円未満	66 51.2%	9 7.0%	43 33.3%	2 1.6%	3 2.3%	5 3.9%	1 0.8%	129
500～750万円未満	159 58.7%	29 10.7%	54 19.9%	8 3.0%	8 3.0%	13 4.8%		271
750～1,000万円未満	159 64.1%	33 13.3%	22 8.9%	7 2.8%	16 6.5%	11 4.4%		248
1,000万円以上	287 62.4%	38 8.3%	15 3.3%	32 7.0%	72 15.7%	15 3.3%	1 0.2%	460
未回答	6 33.3%	1 5.6%	7 38.9%	1 5.6%	2 11.1%		1 5.6%	18
合計	706 58.1%	116 9.5%	187 15.4%	53 4.4%	104 8.6%	47 3.9%	3 0.2%	1,216

[9年生]	計画的に 積み立て	これから 積み立て	経済的に 余裕がない	進学の際に 調達	特に心配 していない	未定 その他	未回答	合計
300万円未満	18 26.5%	1 1.5%	37 54.4%	4 5.9%	2 2.9%	5 7.4%	1 1.5%	68
300～500万円未満	45 40.5%	4 3.6%	38 34.2%	12 10.8%	3 2.7%	8 7.2%	1 0.9%	111
500～750万円未満	74 48.1%	9 5.8%	54 35.1%	9 5.8%	4 2.6%	4 2.6%		154
750～1,000万円未満	72 63.7%	2 1.8%	12 10.6%	7 6.2%	12 10.6%	7 6.2%	1 0.9%	113
1,000万円以上	83 59.3%	9 6.4%	11 7.9%	12 8.6%	21 15.0%	4 2.9%		140
未回答	7 53.8%		2 15.4%		1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	13
合計	299 49.9%	25 4.2%	154 25.7%	44 7.3%	43 7.2%	30 5.0%	4 0.7%	599

進学資金については、各所得層において計画的に積み立てを行っているものの、その率は低所得層ほど低く、経済的に余裕がないと回答する率が高くなっている。

## 2 ひとり親家庭の現状

ひとり親家庭については、児童育成手当受給者へのアンケート調査を平成28年6月に実施するとともに、小中学生の生活状況調査や各種手当、生活保護・就学援助費受給世帯のデータの比較をするなど、さまざまな角度から検証を行った。

### (1) ひとり親家庭状況調査等の結果について

\*主にひとり親家庭を対象とする児童育成手当の受給世帯 2,385 件に対し、現況調査とともにアンケート用紙を送付した。郵送または窓口で回収を行い、1,513 件(63%)の回答があった。結果については以下に示すとおり。

\*ひとり親家庭以外にも、保護者の一方または両方に重度の障害がある家庭も対象となる。

#### 【対 象】

児童育成手当の受給者 2,385人

#### 【調査方法】

無記名回答とし、児童育成手当の現況届に同封し、「ひとり親家庭状況調査」を配布。対象者は、児童育成手当現況届と併せて、子ども家庭支援課へ郵送または窓口へ提出。

#### 【調査実施期間】

平成28年6月1日（水）～平成28年6月30日（木）

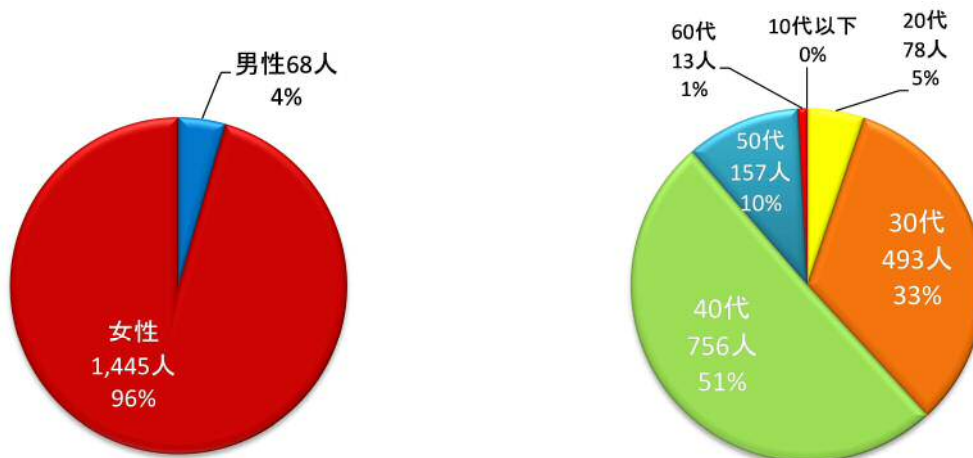
#### 【調査対象者数・回答数】

	対象者数	回答数	回答率
児童育成手当受給者	2,385人	1,513人	63.43%

※対象者数は、平成28年6月1日現在の受給者数

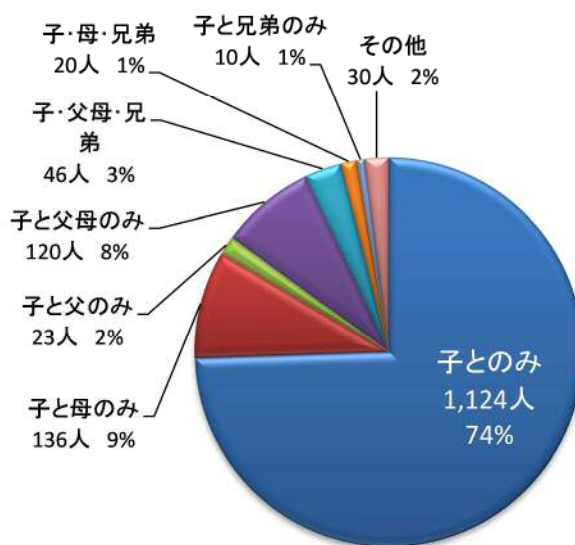
回答者の96%は母子家庭で、30代(33%)、40代(51%)が8割を占めていた。ただし、アンケート対象とした手当受給対象には所得制限があること、該当する子の年齢が18歳までということも考慮が必要。

問 あなたの性別および年齢



世帯状況については、回答した親（母または父）と子のみが74%を占め、小中学生の生活状況調査においても、回答者の親（祖父母等）と同居していないひとり親家庭は54.7%と回答している。

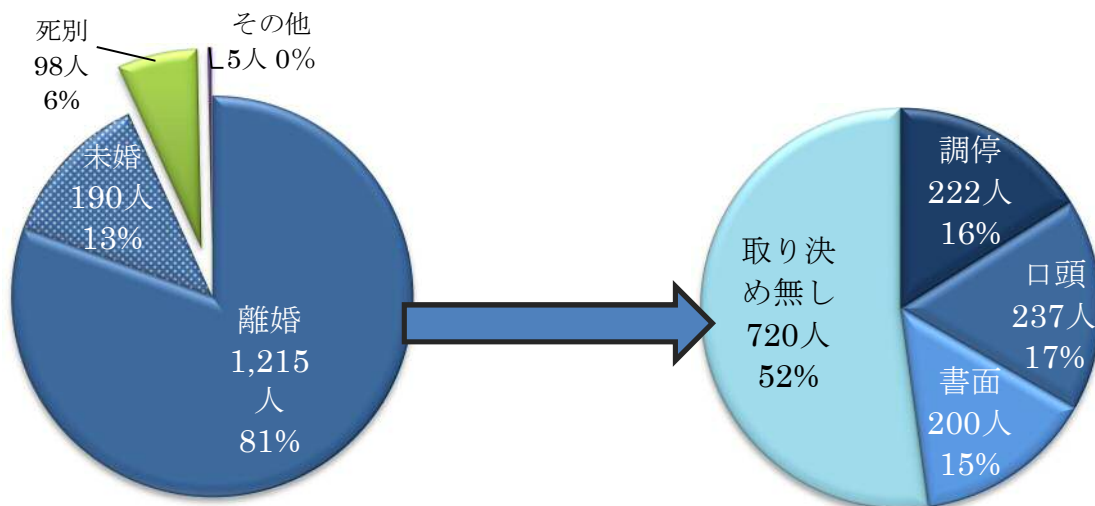
問 あなた（受給者）と同居している家族



※表記は受給者（子の親等）からみた続柄

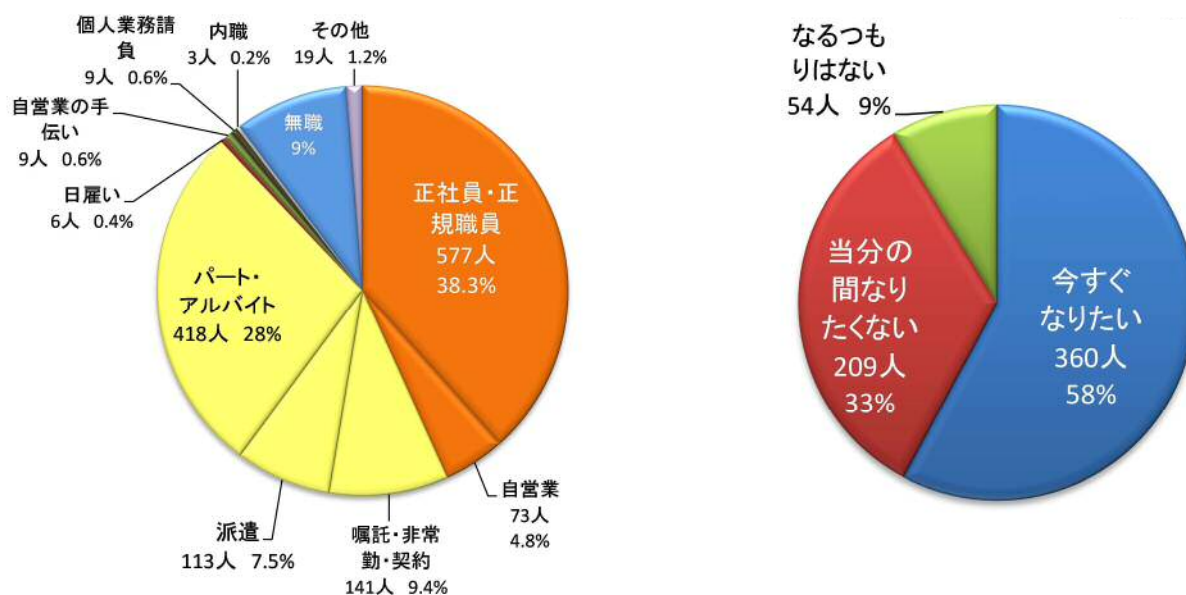
また、ひとり親になった事情の81%が離婚、13%が未婚で、離婚者のうち8割は協議離婚であった。また、離婚・未婚者の52%が養育費の取り決めをしていないと回答している。

問 あなたがひとり親になった事情および養育費の取り決め



就労状況については、正社員・正規職員38%、自営業5%、無職9%で、44.9%はパート・アルバイトなどの非正規雇用であった。ただし、非正規雇用者に対する「正規雇用を希望するか」という設問には、「今すぐになりたい」と回答したのは58%にとどまった。

問 あなたの就労状況および非正規雇用者の正規雇用希望の有無



## (2) 所得分布について

区立小中学校に通う低所得世帯が支給対象となる就学援助費と主にひとり親世帯が対象となる児童育成手当受給世帯の所得分布に示すように、児童育成手当受給世帯では、年間所得 200 万円未満に多く分布し、概ね 6 割を占めており、同手当の高校生の子どもがいる世帯においても大きな差はみられなかった。小中学生の生活状況調査においても同様の結果となっている。

※就学援助：平成27年6月25日現在 / 児童育成手当：平成28年8月9日現在 / 単位：万円

	世帯数	0～50	51～99	100～149	150～199	200～249	250～299	300～349	350～399	400～449	450～499	500以上
就学援助合計	3,089	539 17.45%	216 6.99%	314 10.17%	338 10.94%	384 12.43%	348 11.27%	384 12.43%	313 10.13%	164 5.31%	66 2.14%	23 0.74%
児童育成手当（小・中在学者）合計	1,545	470 30.42%	164 10.61%	238 15.40%	216 13.98%	160 10.36%	115 7.44%	92 5.95%	43 2.78%	40 2.59%	7 0.45%	
児童育成手当（18歳以下）合計	2,471	781 31.61%	271 10.97%	354 14.33%	327 13.23%	257 10.40%	174 7.04%	139 5.63%	91 3.68%	60 2.43%	16 0.65%	1 0.04%

## (3) 養育費の受給状況について

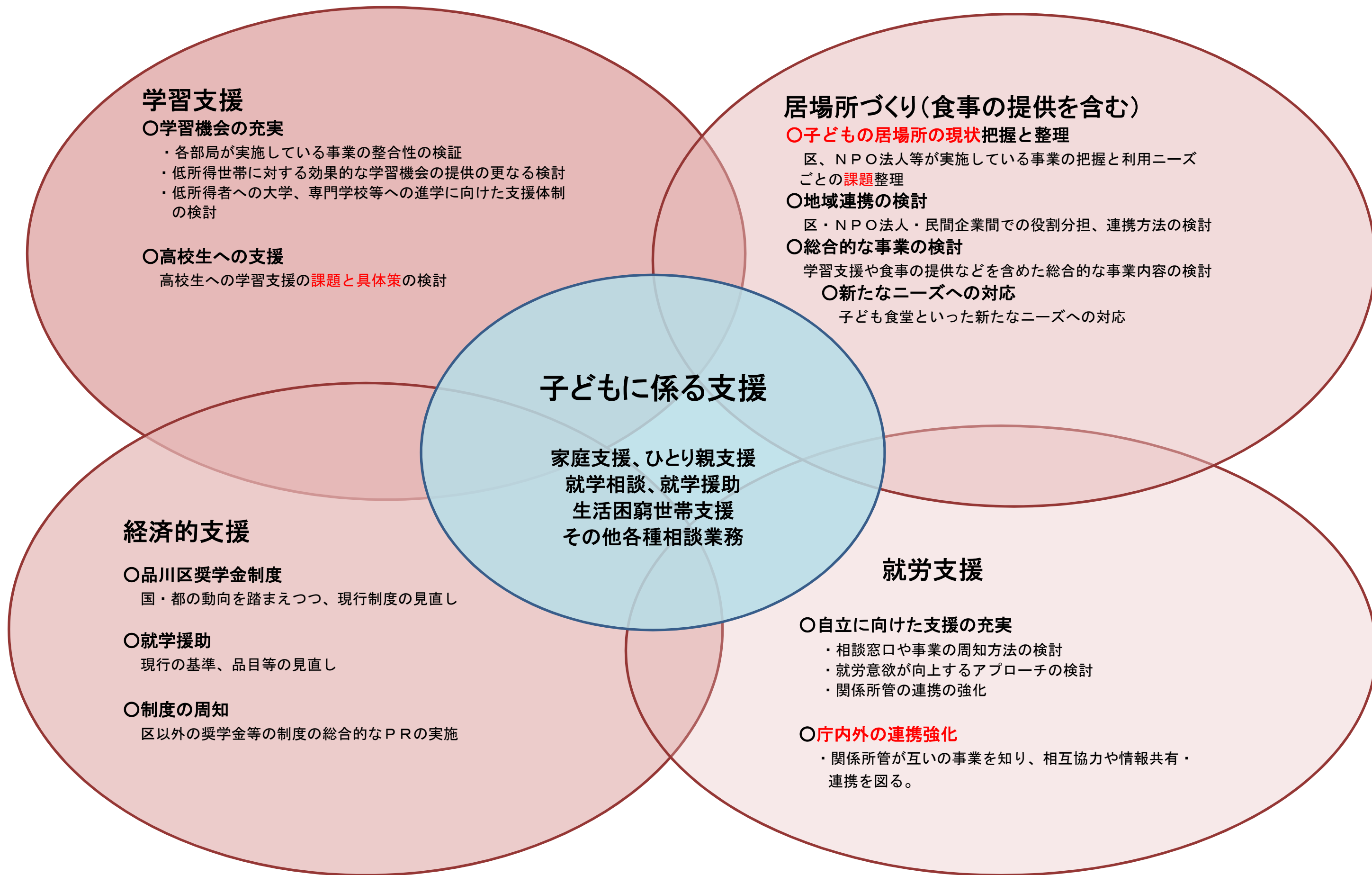
\*児童扶養手当申請時および更新時に本人の申し出により、養育費の受給状況を把握している。手当受給者のうち、養育費を受け取っていない世帯は 81%を占めており、受け取っている家庭（434 世帯）でも、年額 30～50 万円程度が最も多い。

\*前述した児童育成手当とは別のひとり親手当で受給額の算出に養育費が含まれる。

※平成28年8月8日現在 / 単位：万円(年額)

	世帯数	養育費受取状況分布(世帯数)						
		0円	10未満	10～30 未満	30～50 未満	50～70 未満	70～90 未満	90以上
母子家庭	2232	1799 80.60%	23 1.03%	93 4.17%	147 6.59%	68 3.04%	40 1.79%	62 2.78%
父子家庭	90	89 98.88%	1 1.12%					
計	2322	1888 81.31%	24 1.03%	93 4%	147 6.33%	68 2.93%	40 1.73%	62 2.67%

# 子どもを取り巻く分野別検討の方向性



カテゴリ別イメージ図【学習支援 世代別施策一覧】

対象世帯	目的	就学前	小学校・義務(前期)						中学校・義務(後期)			高等学校		
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3
全世帯	基礎学力向上		<b>すまいるスクール (1~6年生)</b> 利用料: 生保、区民税非課税、均等割、就学援助世帯等 減免 ①自学自習 ②勉強会(登録制 500円/月)						8年生 <b>勉強合宿</b> 就学援助者 補助あり					
			<b>品川地域未来塾 H28 15校 H29 31校 H30 46校(全校)</b> コミュニティスクールの一事業 (放課後、夏季休業中等)											
			<b>サマースクール (夏季休業中における補習授業) 全校</b>											
	自学自習促進		<b>タブレットを活用した自学自習の推進 (小規模校支援: 小8校 中2校)</b>											
	英語力向上								<b>グローバル人材育成塾</b> 5会場: 週1回70分全25回					
									<b>イングリッシュキャンプ</b> 上記塾生から80名希望者から選抜					
									<b>英検助成 (5~9年生)</b> 年1回受験料を助成					
ひとり親世帯	交流 基礎学力向上 受験支援 <small>ボランティアのキャリアモデル</small>								<b>ぐんぐんスクール (5~9年生)</b> 通年コース(土曜午後20回)/夏期冬期集中コース(中・高)全10回			<b>拡充</b> <b>大学進学支援</b>		
生活困窮世帯	学習環境相談 基礎学力向上 受験支援		<b>生活困窮者学習支援事業 (相談・学習支援: 27年度プラン作成2件)</b>						<b>チャレンジ貸付</b> 9年生			<b>チャレンジ貸付</b> 3年生		
生活保護世帯	学習環境相談 基礎学力向上		<b>子ども家庭支援事業 (27実績 訪問相談172世帯述べ309回 学習支援: 10人)</b>									<b>高校2~3年生</b>		

※   で示した2事業は、29年度予算で打ち出す事業

【課題】

- \* 経済的理由により、大学等への進学をあきらめる生徒も見られる。
- \* 低所得世帯が中心となる、効果的な学習機会の提供方法についての検討が必要である。
- \* 区による高校生の支援策についての検証が必要である。

【今後の方向性】

- ◆ **学習機会の充実**
  - ・各部局が実施している事業の整合性の検証
  - ・低所得世帯に対する効果的な学習機会の提供の更なる検討
  - ・低所得者への大学、専門学校等への進学に向けた支援体制の検討
- ◆ **高校生への支援**  
 高校生への学習支援の課題と具体策の検討

【29年度に向けて】

- 『子どもの未来を拓く学習支援事業(高校生対象)』を実施する。(平成29年度予算化)
- 生活保護世帯を対象に、大学進学のための支援策を検討する。



カテゴリ別イメージ図【経済的支援 世代別施策一覧】

	世代	就学前	小学生・義務(前期)						中学生・義務(後期)			高校生			大学生				
	学年		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3	4	
生活の支援	全世帯	児童手当・子どもすこやか医療費助成																	
	ひとり親世帯	児童扶養手当・児童育成手当・ひとり親医療費助成																	
		東京都母子・父子福祉資金(生活資金等)																	
	生活困窮世帯	生活福祉資金貸付事業(社会福祉協議会)																	
生保世帯	生活保護																		
教育・学習支援	全世帯	公立学校1年～9年 災害共済給付掛金補助									区奨学金貸付事業			日本学生支援機構 奨学金貸付事業					
		東京都育英資金																	
	ひとり親世帯	東京都母子・父子福祉資金(修学、就学支度金等資金)貸付																	
	生活困窮世帯	公立学校1年～9年 就学援助・多子家庭給食費補助									チャレンジ貸付 9年生塾代受験料			チャレンジ貸付 3年生塾代受験料			貸付事業(社会福祉協議会)		
教育支援資金																			
生保世帯	生活保護 教育扶助									生活保護 生業扶助									
	生活保護 塾代補助																		

**【課題】**

- \* 区の奨学金貸付制度について、ニーズ把握を行い見直す必要がある。
- \* 区に限らず、各種制度全体の周知を行う必要がある。
- \* 高校入学時における入学準備金等の授業料以外の負担の支援策の検討(区としてどこまで支援するのか)

**【今後の方向性】**

- ◆品川区奨学金制度  
国・都の動向を踏まえつつ、現行制度の見直し
- ◆就学援助  
現行の基準、品目等の見直し
- ◆制度の周知  
区以外の奨学金等の制度の総合的なPRの実施

**【29年度に向けて】**

- 奨学金貸付制度  
入学支度金、授業料以外の負担のニーズ把握や返還免除型について検証する。
- 就学援助  
対象についての基準や所得に応じた支給方法、入学支度金の支給時期などを検討する。
- 各種制度全体の周知パンフレットの作成・配布(平成29年度予算化)

# カテゴリ別イメージ図【居場所づくり・食事の提供】

世代	目的	就学前	小学生・義務(前期)						中学生・義務(後期)			高校生			若者		
学年・年齢			1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	25歳	34歳	
全世帯	安全な居場所の提供		すまいるスクール／間食の提供						児童センター／食育活動								
	青少年の育成								ジュニア・リーダー教室			青少年地域貢献活動支援事業					
	不安感・孤独感の解消											フリースペース					
	学力の育成		品川地域未来塾														
	児童生徒の心のケア・学習の保障		相談室・サマースクール						相談室・サマースクール			区立図書館					
						マイスクール八潮			マイスクール五反田								
			子ども食堂／食事の提供														
ひとり親	学習意欲の向上 交流の場の提供								ぐんぐんスクール／交流会			大学進学支援					
生活困窮	子どもの健全育成		学習支援事業(学習環境相談、基礎学力向上、受験支援)									支援					
生活保護			子ども家庭支援事業(学習環境相談、基礎学力向上)									高校2～3年					

※ [ ] で示した事業は、29年度予算で打ち出す事業(居場所の増)

## 【課題】

- \* 子どもの居場所となる事業は数多く実施されているが、利用者のニーズに合わせて、利用できる対象世代や開催日等整理が必要である。
- \* 平日夜間、特に19時以降や日曜・祝日に常設での居場所の提供が少なく、今後、区・NPO法人・民間企業間での役割分担・連携について、考えていく必要がある。
- \* 共働き家庭やひとり親家庭等、真に支援が必要な子どもの掘り起しをどうするか。
- \* NPO法人等とどのような連携が図れるのか。
- \* 居場所づくりと学習支援や食事の提供なども含めた総合的な検討が必要である。

## 【今後の方向性】

- ◆ 子どもの居場所の現状把握と整理  
区、NPO法人等が実施している事業の把握と利用ニーズごとの課題整理
- ◆ 地域連携の検討  
区・NPO法人・民間企業間での役割分担、連携方法の検討
- ◆ 総合的な事業の検討  
学習支援や食事の提供などを含めた総合的な事業内容の検討
- ◆ 新たなニーズへの対応  
子ども食堂といった新たなニーズへの対応

## 【29年度に向けて】

- 居場所づくり  
法人や事業者で行っている事業も含め、実施事業の調査と整理を行うとともに、学習支援や食事の提供などを含めた検討を行う。  
あわせて、NPO法人や民間事業者との連携方法についても検討する。
- 食事の提供  
子ども食堂の開設・ネットワーク支援とフードバンク機能の構築事業を実施する。(平成29年度予算化)

# カテゴリ別イメージ図【就労支援 施策一覧】

対 象	実施部署、機関	事 業
若者・女性 ※若者=39歳以下	商業・ものづくり課 就業センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者等就業支援 キャリアカウンセリング</li> <li>若者等就業支援 就職支援セミナー</li> <li>若者等就業支援 ミニ合同企業説明会</li> <li>若者等就業体験 インターンシップ</li> <li>創業支援事業</li> </ul>
ひとり親	子ども家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援プログラム策定</li> <li>ひとり親家庭パソコン教室</li> <li>自立支援教育訓練給付金</li> <li>高等職業訓練促進給付金</li> <li>高等職業訓練促進貸付（社会福祉協議会）</li> </ul>
低所得者	暮らし・しごと 応援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労準備支援事業</li> <li>自立相談支援事業</li> </ul>
生保世帯	生活福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職力アップ支援プログラム</li> <li>就労支援プログラム</li> </ul>

## 【課 題】

- 相談や各プログラム活用後は成果が見られるが、自立に向け就労支援に結びつくまでが困難である。
  - \* 相談窓口や事業の周知
  - \* 就労意欲が向上するアプローチのあり方。
- 各所管が関連の事業を熟知し、相談を受けた際に適した事業に案内できるシステムが必要である。
  - \* ちらし等を窓口置く
  - \* 相談員同士の情報共有

## 【今後の方向性】

- ◆自立に向けた支援の充実
  - ・相談窓口や事業の周知方法等の検討
  - ・就労意欲が向上するアプローチの検討
  - ・関係所管もの連携強化
- ◆庁内外の連携強化
  - ・関係所管が互いの事業を知り、相互協力や情報共有・連携を図る。

## 【29年度へ向けて】

- 子ども家庭支援課、生活福祉課、商業・ものづくり課（就業センターを含む）実施事業での連携強化
  - ・パソコン教室
  - ・インターシップ参加時の一時介護の利用要件拡大
  - ・相談事業や支援事業などの情報共有と相互協力
- キャリアデザインを描けるアプローチについて、低所得世帯、ひとり親家庭向け事業の導入を推進していく。

## 子どもの未来応援プロジェクト

### 未来を拓く学習支援 ～低所得世帯への学習支援～

#### ◇事業目的

「子供の貧困対策に関する大綱（平成 26 年 8 月 29 日閣議決定）」を受け、区では平成 28 年 6 月、品川の子どもの将来が生まれ育った環境や親の経済状況で左右されることのないように、「子どもの未来応援プロジェクト検討委員会」を創設。

自宅で勉強できる環境が整っていない家庭に対し、自学自習に関する支援や場の提供を行うことで、教育の機会均等を図る。

#### ◇事業内容

子どもと親の双方を支援することで、学力の向上と修学資金の準備を促し、子どもがめざす進路の実現を後押しする。

##### 1. 対象

- (1) ひとり親家庭等対象の学習支援事業に参加しており進学を目指す高校生とその親
- (2) 生活保護、生活困窮世帯で進学を目指す高校生とその親

##### 2. 人数 10 組

##### 3. 子どもへの支援

- (1) 学習支援ボランティアがサポートする自習室の開設で、計画的な学習の場を提供する。  
(月曜～金曜 午後 6 時から 8 時)
- (2) 現役大学生等の講師による学習指導（週 2 日程度）と進路相談で、学力向上を図る。
- (3) 子どもの交流および施設見学の実施で、キャリアデザインを描く。  
(大学キャンパスや区内企業を見学)

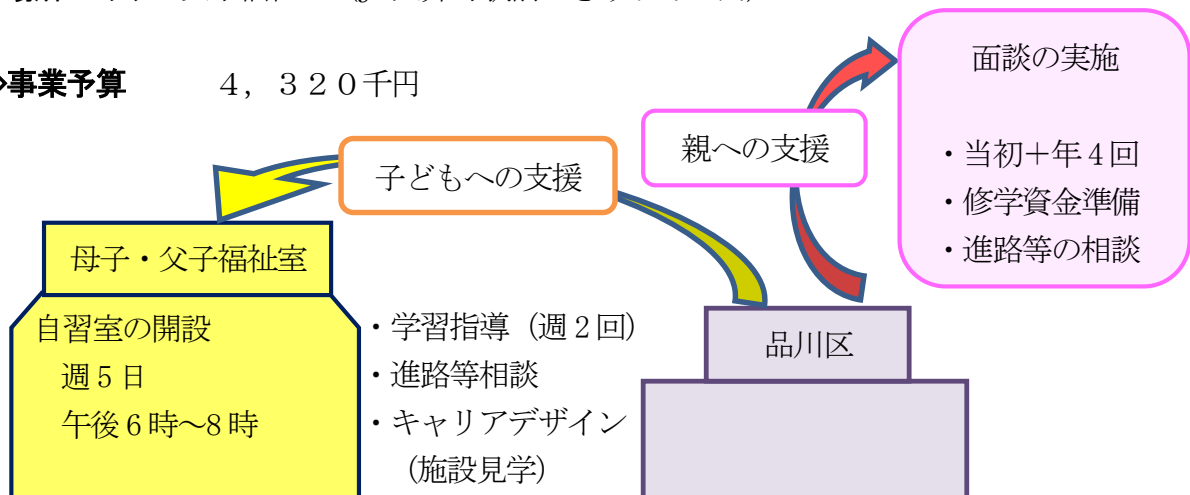
##### 4. 親への支援

- (1) 区相談員による面談で、修学資金の準備に向けた情報提供等の支援を行う。  
(必要に応じ資金調達の助言、相談窓口案内)
- (2) 子ども・親との面談など進学に必要なサポートをする。

##### 5. 場所 母子・父子福祉室（JR 大井町駅前のきゅりあん内）

#### ◇事業予算

4, 3 2 0 千円



## 子どもの未来応援プロジェクト

### 子ども食堂開設・ネットワーク支援

#### ◇事業目的

地域のコミュニティの中で子どもを育てていく効果的な拠点として期待できる子ども食堂の開設を支援し、フードバンクなどの地域のネットワークを構築することで、民間活動の活性化と子どもの居場所づくりを図る。

#### ◇事業内容

子ども食堂開設に向けた情報の共有や共同運営のあり方など、継続して活動できるよう支援するとともに、食材や資材等の提供希望者からの食材の提供や運搬等を行うフードバンク機能を構築。

#### 1. ステップⅠ「子ども食堂」に関する情報交換のためのフォーラムを開催

- (1)対象 子ども食堂やフードバンクの取り組みに興味がある者
- (2)内容
  - ①「子ども食堂」運営者による講話と意見交換会
  - ②保健所による食品衛生に関する基礎講座
  - ③参加者の交流会

#### 2. ステップⅡ（仮称）品川区子ども食堂ネットワークの構築

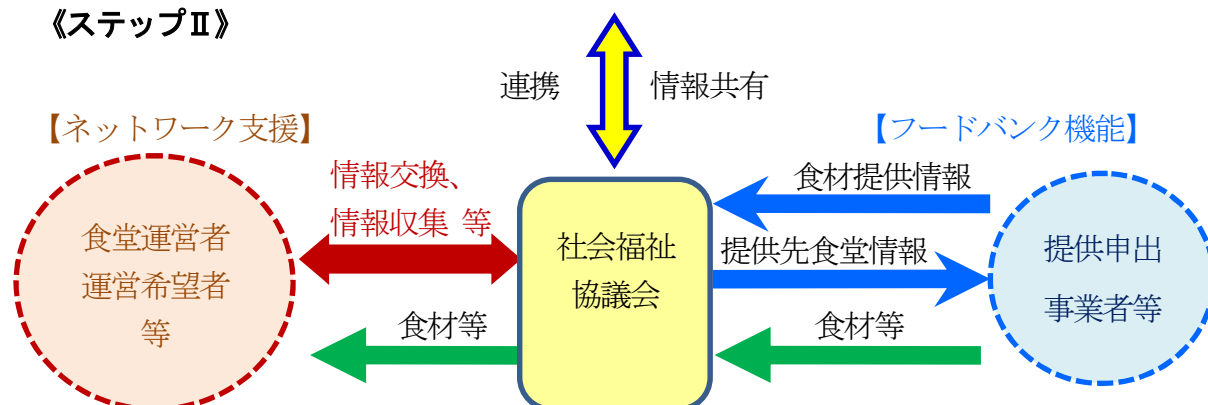
- (1)対象
  - ①区内で子ども食堂を開設している者
  - ②子ども食堂に関心がある区民・事業者
  - ③食材、資材等の提供希望者・事業者
- (2)内容
  - ①子ども食堂に関わる団体・個人・事業者ネットワークの構築
  - ②運営者・運営希望者やボランティア希望者とのマッチング機能の構築
  - ③フードバンク機能の構築準備

◇事業予算 1, 610千円

#### 《ステップⅠ》

区 「子ども食堂」に関する情報交換のためのフォーラム開催

#### 《ステップⅡ》



# 子どもの未来応援プロジェクト

## 奨学金等案内パンフレット作成

### ◇事業内容

- (1)対象 区立学校の中학생および関係部署・機関
- (2)規格 A4たて版8面
- (3)作成部数 6,000部
- (4)配布方法 ①学校を通じて生徒に配布  
②関係部署、機関へは申し出により必要部数を配布

### ◇事業予算 273千円

### <イメージ>

**奨学金・貸付金等のご紹介**

私立高校の授業料は、世帯の収入状況に応じ、奨学金や貸付金等を利用することができます。世帯の収入状況に応じて、奨学金や貸付金等を利用することができます。

私立高校	公立高校
入学費 5,600円(税込)	入学費 25,500円
授業料(教科書代金等含む) 7,500円	授業料 44,000円
交通費(バス代) 4,000円	制服代 21,000円
生活費(通学・通宿) 6,000円	教科書代・参考書代 5,000円
教材(教科書代・プリント) 7,000円	通学(バス代) 15,000円
教科書代(クラブ活動の費用) 3,000円	教科書代(クラブ活動) 4,000円
おおよその必要総額 24万1千円	おおよその必要総額 114万9千円

**奨学金・貸付金の種類**

- ・世帯の収入状況等により貸付金や奨学金のどちらかによる利用が可能です。
  - ★奨学金
  - ★貸付金
- ・世帯の収入状況により私立高校向けには、奨学金や貸付金等を利用することができます。
  - ★奨学金
  - ★貸付金

それ以外の詳細は案内パンフレットに